

白井市 都市マスタープランに係るアンケート調査結果分析

第6次総合計画及び都市マスタープランに係る各種アンケート調査のとりまとめの視点

※下表赤枠内に示す項目を都市マスに係る結果として掲載

視点	ねらい	分析項目	住民	若い世代	高校生	職員
(1) 属性	・適宜他設問とのクロス集計を行い、性別・年齢・居住地等の属性別の集計を行う。	-	24/25 28/30 31	17/18 21/22 23	22/23 25/27	-
(2) 現行施策の満足度・重要度	・現行施策を市民目線で評価するために、施策に対する満足度・重要度を把握し、市民のニーズを明確化する。	・第5次総合計画後期基本計画に掲げる施策に対する満足度・重要度 ・将来的に重要だと考えられる取組・分野	5	-	-	6
(3) 居住意向	・白井市での居住理由や白井市の住みやすさに対する評価、白井市での永続的な居住継続意向・理由を把握し、定住推進のターゲットを明確化する。	・白井市の住みやすさに対する評価 ・白井市での永続的な居住継続意向・理由 ・若い世代世代の居住理由 ・ライフステージごとの白井市内での居住意向	2 3	2 ～ 6	2～4 6～8 9 11 12	-
(4) 都市機能	・全世代、特に若い世代が魅力を感じていない都市機能、特に改修/再整備の構想がある駅前および白井総合公園について意向を把握する。	・目的別によく行く場所への来訪頻度・行き先・交通手段 ・理想とする駅前などの中心市街地機能および賑わい創出 ・理想とする白井総合公園の機能 ・土地の使い方や開発の方向性 ・地区別のまちづくりへの意向 ・推進して欲しい防災対策	4 8 13 ～ 20	8 9	14 15	
(参考) 現状の白井市への認識	・白井市の現状、白井市にとって良い機会となると考えられる項目、白井市にとって脅威となると考えられる項目を把握する。	・白井市の現状に対する評価 ・白井市にとってよい機会となると考えられる項目 ・白井市にとって脅威となると考えられる項目				1 ～ 4
子育て環境	・若い世代（子育て世代）の居住意向に関係する子育て環境向上施策の方向性の検討に活用する。	・少子化対策・子育て支援施策として充実させてほしい取組 ・学校教育施策として充実させてほしい取組 ・子どもの出生前後に関心していること・心配なこと ・子どもを育てる上で困っていること・心配なこと ・白井市で子どもを育てる理由	6 7	13 14 15		
シビックプライド形成状況	・地域の愛着や地域活動への参加状況について把握する。 ・地域活動の参加を促す施策を打つターゲットを明確化する。	・白井市への愛着の有無と地域活動への参加状況の関連性 ・地域活動への参加状況と回答者属性の関連性	1 10 11	1	2 17 18	-
将来計画への意向	・各主体目線での将来計画への意向を把握し、計画に盛り込む内容の検討に活用する。	・次期計画策定へのアイデア ・市の将来像および方向性	-	16	19～22	5

白井市 都市マスタープランに係るアンケート調査結果分析

アンケート対象・調査期間・有効回収数等

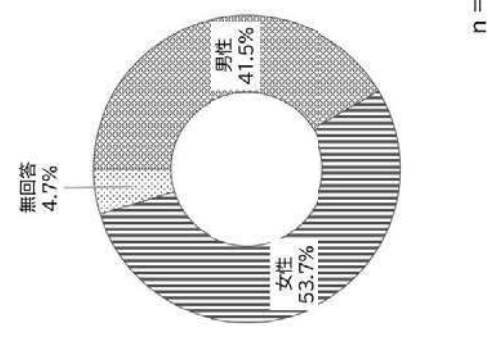
調査	調査対象者	調査期間	有効回収数	有効回収率
白井市住民意識調査	全市民から無作為に選んだ2,500人	令和6年1月	1,308件	52.3%
若い世代アンケート調査	1988年4月2日から2005年4月1日までに生まれた市民のうち、無作為に選んだ2,000人	令和6年2月	426件	21.3%
高校生アンケート調査	2005年4月2日から2008年4月1日までに生まれた2,199人全員	令和6年2月	294件	13.4%

〔住〕：住民意識調査 〔若〕：若い世代アンケート調査 〔高〕：高校生世代アンケート調査

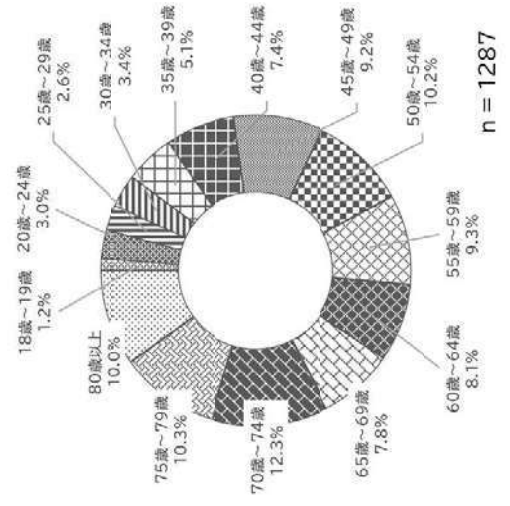
(1) 属性

①住民意識調査（有効回答者数 1308人）

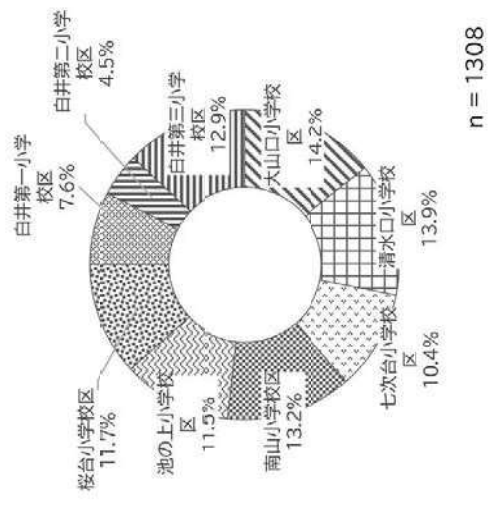
住 問24：性別



住 問25：年齢



住 問28：居住地区

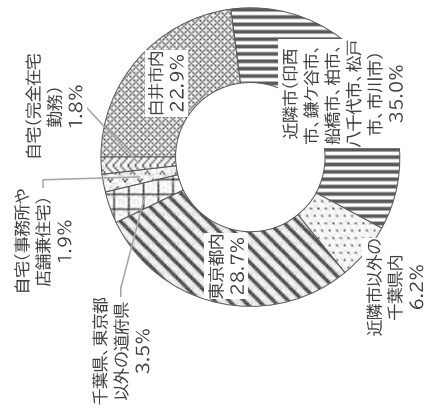


- 回答者の性別は、女性が約5割、男性が約4割である。
- 回答者の年齢は、60歳以上が最も多く、約5割である。
- 回答者の居住地区は、大山口小学校区が最も多く、約14%である。

(1) 属性

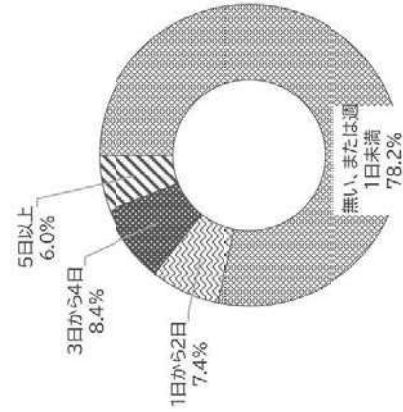
①住民意識調査（有効回答者数 1308人）

住 問30：通勤・通学先



n = 777

住 問31：在宅勤務（オンライン授業）の頻度/週



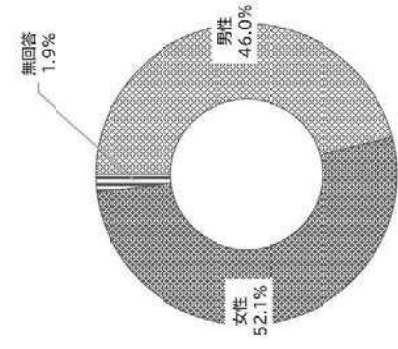
n = 717

- 回答者の通勤・通学先は、近隣市が最も多く、約4割である。
- 在宅勤務（オンライン授業）の頻度は無い、または週1日未満が最も多く、約8割である。

(1) 属性

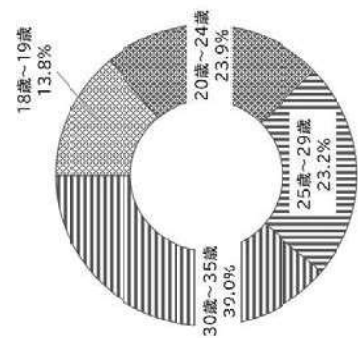
②若い世代アンケート（有効回答者数 426人）

若 問17：性別



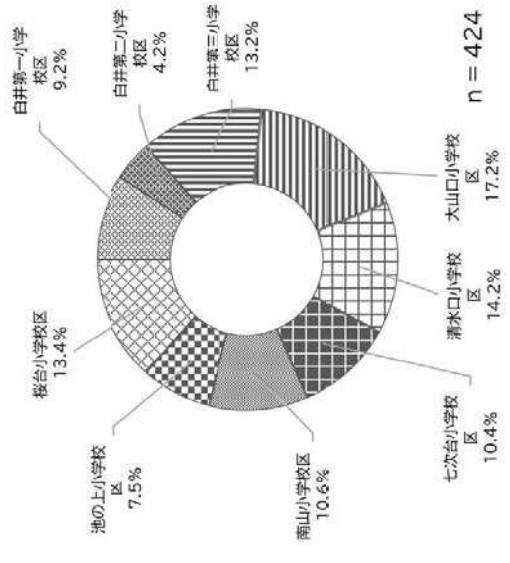
n = 426

若 問18：年齢



n = 426

若 問21：居住地区



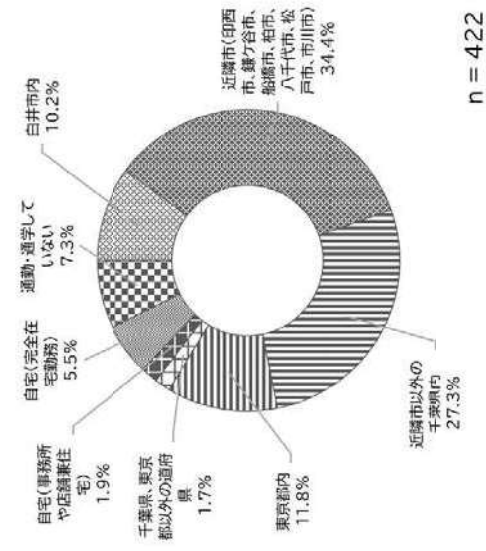
n = 424

- 回答者の性別は、女性が多いが男女とも約5割である。
- 回答者の年齢は、30～35歳が最も多く、約4割である。
- 回答者の居住地区は、大山口小学校区が最も多く、約17%である。

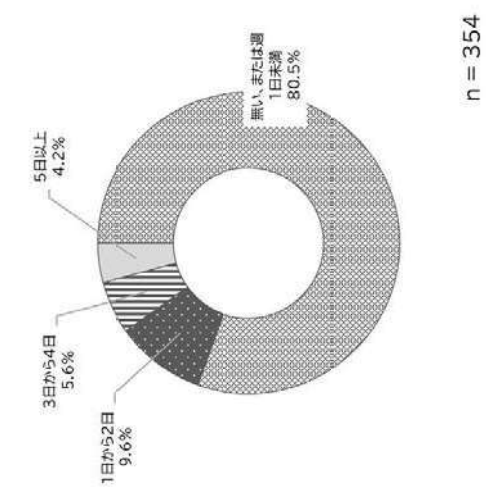
(1) 属性

②若い世代アンケート（有効回答者数 426人）

若 問22：通勤・通学先



若 問23：在宅勤務（オンライン授業）の頻度/週

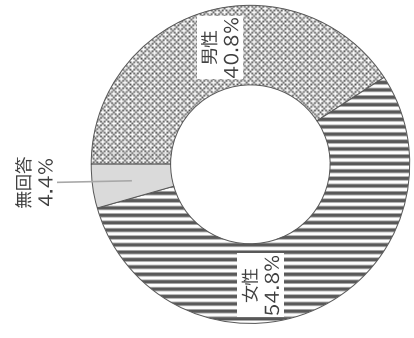


- 回答者の通勤・通学先は、近隣市が最も多く、約3割である。
- 在宅勤務（オンライン授業）の頻度は無い、または週1日未満が最も多く、約8割である。

(1) 属性

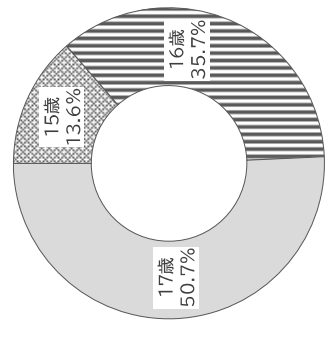
③高校生世代アンケート (有効回答者数 294人)

問22：性別



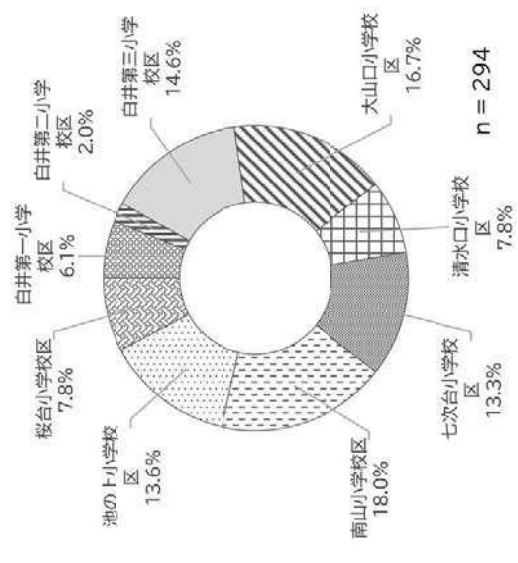
n = 294

問23：年齢



n = 294

問27：居住地区



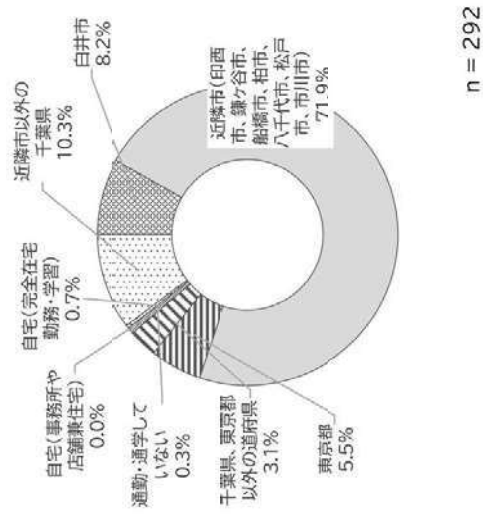
n = 294

- 回答者の性別は、女性が約5割、男性が約4割である。
- 回答者の年齢は、約5割が17歳である。
- 回答者の居住地区は、南山小学校区が最も多く、18%である。

(1) 属性

③高校生世代アンケート（有効回答者数 294人）

高 問25：通勤・通学先



- ・回答者の通勤・通学先は、近隣市が最も多く、約7割である。

(2) 現行施策の満足度

①満足度・重要度の関係性

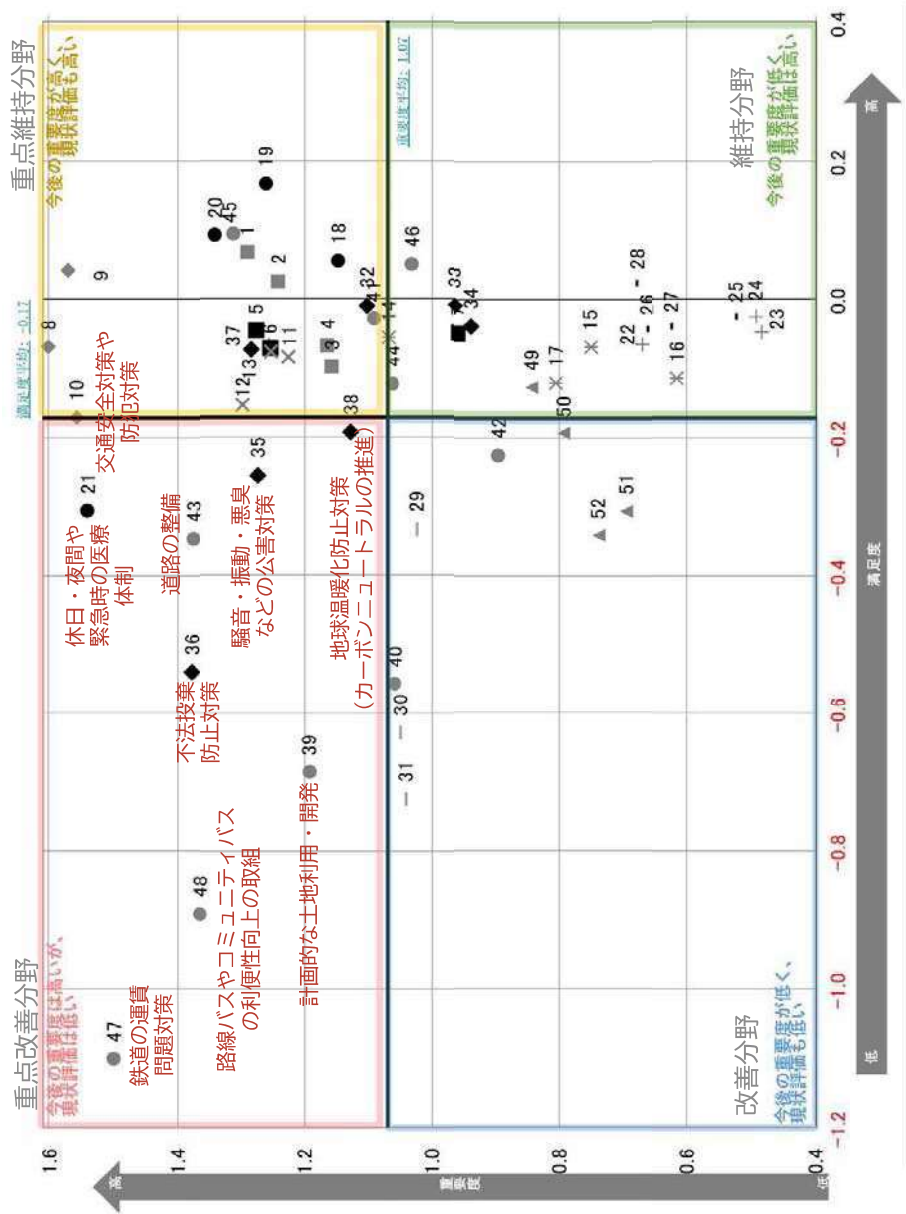
- ・今回評価で新たに追加した項目に着目すると、
 - ・「32里山や河川などの自然環境の保全」は重点維持分野
 - ・「50SDGsの推進」「51官民連携の推進」「52DXの推進」「40空き家の発生抑制」は改善分野
 - ・「46街路樹などの街中のみどりの保全」は維持分野に分類される。
- 平均
- ・前回評価から分野が変わった施策として、
「41公園の整備」は維持分野から重点維持分野に
「14差別、偏見、虐待などを防止する人権対策」は重点維持分野から維持分野に
「44橋梁や河川の整備」は改善分野から維持分野に分類される。

重要度	
＜改善分野＞	10 交通安全対策や防犯対策 21 休日・夜間や緊急時の医療体制 35 騒音・振動・悪臭などの公害対策 36 不法投棄防止対策 38 地球温暖化防止対策（カーボンニュートラルの推進） 39 計画的な土地利用・開発 43 道路の整備 47 鉄道の運賃問題対策 48 路線バスやコミュニティバスの利便性向上の取組
	29 多様な形態の農業経営と担い手の支援 30 商店街や工業団地などの活性化の支援 31 企業誘致の推進 40 空き家発生抑制 42 地域の特性を生かした景観づくり 50 SDGs（持続可能な開発目標）の推進 51 官民連携の推進 52 DXの推進
※主に都市マスタープランに関わる取組を赤下線	
平均	
満足度	

(2) 現行施策の満足度

(参考) 満足度・重要度の関係性

・縦軸に重要度、横軸に満足度をとり、各施策項目の得点を座標で示す。重要度・満足度の平均点が交差する点を原点とし、原点を通る線により、各施策を4つの分野に分類した。



分野	取り組み
子育て	1 子どもの医療費助成など子育て支援
	2 保育園の整備など子育ての環境づくり
	3 障がい児への療育の支援
	4 児童や青少年の健全育成
教育	5 小・中学校での教育・指導内容
	6 学校施設の整備・安全対策
	7 地域の教育資源を活用した開かれた学校づくり
	8 地震・台風などに備えた防災対策
防災・防犯	9 火災に対する消防体制や緊急時の救急体制
	10 交通安全対策や防犯対策
	11 障がい者への福祉サービス
	12 高齢者への福祉サービス
福祉	13 保健や福祉の相談窓口機能の充実
	14 差別、偏見、虐待などを防止する人権対策
	15 男女共同参画社会づくり
	16 国際交流など国際化の推進
平和・多文化共生	17 平和意識の啓蒙や平和教育の推進
	18 健康づくりの推進
	19 乳幼児健診など母子の健康対策
	20 がん検診など病気の予防対策
健康・保健・医療	21 休日・夜間や緊急時の医療体制
	22 地区コミュニティの活性化の支援
	23 公益的市民活動団体などへの支援
	24 市民参加・協働の取組
市民活動	25 講座開催など生涯学習活動の支援
	26 スポーツ活動の推進
	27 文化・芸術活動の推進
	28 歴史・文化財の保存と活用
生涯学習	29 多様な形態の農業経営と担い手の支援
	30 商店街や工業団地などの活性化の支援
	31 企業誘致の推進
	32 里山や河川など自然環境の保全
産業振興	33 市民の森など自然とふれあう場の提供
	34 環境学習や環境美化活動の推進
	35 騒音・振動・悪臭などの公害対策
	36 不法投棄防止対策
自然環境・生活環境	37 ゴミの減量とリサイクルの推進
	38 地球温暖化防止対策
	39 (カーボンニュートラルの推進)
	40 計画的な土地利用・開発
住環境・生活基盤	41 空き家発生抑制
	42 公園の整備
	43 地域の特性を生かした景観づくり
	44 道路の整備
その他	45 橋梁や河川の整備
	46 上・下水道の整備
	47 街路樹など街中のみどりの保全
	48 鉄道の運賃問題対策
維持分野	49 情報公開やコミニティバスの利便性向上の取組
	50 SDGs (持続可能な開発目標) の推進
	51 官民連携の推進
	52 DXの推進

〔注〕住民意識調査 〔若〕：若い世代アンケート調査 〔高〕：高校生世代アンケート調査

(2) 現行施策の満足度

(参考) 施策別満足度・重要度点数

分野	取り組み	満足度	重要度
子育て	1 子どもの医療費助成など子育て支援	0.07	1.29
	2 保育園の整備など子育ての環境づくり	0.03	1.24
	3 障がい児への療育の支援	-0.10	1.16
	4 児童や青少年の健全育成	-0.07	1.16
教育	5 小・中学校での教育・指導内容	-0.05	1.28
	6 学校施設の整備・安全対策	-0.07	1.26
	7 地域の教育資源を活用した開かれた学校づくり	-0.05	0.96
	8 地震・台風などに備えた防災対策	-0.07	1.60
防災・防犯	9 火災に対する消防体制や緊急時の救急体制	0.04	1.57
	10 交通安全対策や防犯対策	-0.17	1.56
福祉	11 障がい者への福祉サービス	-0.08	1.23
	12 高齢者への福祉サービス	-0.15	1.30
	13 保健や福祉の相談窓口機能の充実	-0.08	1.25
平和・多文化共生	14 差別、偏見、虐待などを防止する人権対策	-0.06	1.07
	15 男女共同参画社会づくり	-0.07	0.75
	16 国際交流など国際化の推進	-0.12	0.62
健康・保健・医療	17 平和意識の啓発や平和教育の推進	-0.12	0.81
	18 健康づくりの推進	0.05	1.15
	19 乳幼児健診など母子の健康対策	0.17	1.26
市民活動	20 がん検診など病気の予防対策	0.09	1.34
	21 休日・夜間や緊急時の医療体制	-0.31	1.54
	22 地区コミュニティの活性化の支援	-0.06	0.67
市民活動	23 公益的市民活動団体などへの支援	-0.05	0.48
	24 市民参加・協働の取組	-0.03	0.49

【凡例】
赤網掛け：今後の重要度は高いが、現状の評価は低い
青網掛け：今後の重要度が低く、現状の評価も低い
黄網掛け：今後の重要度が高く、現状の評価も高い
緑網掛け：今後の重要度が低い、現状の評価は高い

分野	取り組み	満足度	重要度
生涯学習	25 講座開催など生涯学習活動の支援	-0.03	0.52
	26 スポーツ活動の推進	-0.05	0.66
	27 文化・芸術活動の推進	-0.04	0.63
	28 歴史・文化財の保存と活用	0.02	0.68
産業振興	29 多様な形態の農業経営と担い手の支援	-0.33	1.02
	30 商店街や工業団地などの活性化の支援	-0.63	1.05
	31 企業誘致の推進	-0.72	1.04
	32 里山や河川など自然環境の保全	-0.01	1.10
自然環境・生活環境	33 市民の森など自然とふれあう場の提供	-0.01	0.96
	34 環境学習や環境美化活動の推進	-0.04	0.94
	35 騒音・振動・悪臭などの公害対策	-0.26	1.27
	36 不法投棄防止対策	-0.54	1.38
住環境・生活基盤	37 ゴミの減量とリサイクルの推進	-0.07	1.28
	38 地球温暖化防止対策（カーボンプリントラルの推進）	-0.19	1.13
	39 計画的な土地利用・開発	-0.69	1.19
	40 空き家発生抑制	-0.56	1.06
住環境・生活基盤	41 公園の整備	-0.03	1.09
	42 地域の特性を生かした景観づくり	-0.22	0.89
	43 道路の整備	-0.35	1.37
	44 橋梁や河川の整備	-0.12	1.06
住環境・生活基盤	45 上・下水道の整備	0.09	1.31
	46 街路樹など街中のみどりの保全	0.05	1.03
	47 鉄道の運賃問題対策	-1.10	1.50
	48 路線バスやコミュニティバスの利便性向上の取組	-0.89	1.36
その他	49 情報公開や広報・PR活動の取組	-0.13	0.84
	50 SDGs（持続可能な開発目標）の推進	-0.19	0.79
	51 官民連携の推進	-0.31	0.70
	52 DXの推進	-0.34	0.74

【参考】
・満足度平均値：-0.17
・重要度平均値：1.07

【注】住民意識調査 若：若い世代アンケート調査 高：高校生世代アンケート調査

白井市 都市マスタープランに係るアンケート調査結果分析

(2) 現行施策の満足度

②満足度下位10 施策

- 満足度が最も低い施策は「鉄道の運賃問題対策」である。
- 施策分野別では、「住環境・生活基盤」が5、「産業振興」が3、「自然環境・生活環境」「その他」が1施策ずつ入っている。

順位	施策分野	施策	施策番号	満足度
1	住環境・生活基盤	鉄道の運賃問題対策	47	-1.10
2	住環境・生活基盤	路線バスやコミュニティバスの利便性向上の取組	48	-0.89
3	産業振興	企業誘致の推進	31	-0.72
4	住環境・生活基盤	計画的な土地利用・開発	39	-0.69
5	産業振興	商店街や工業団地などの活性化の支援	30	-0.63
6	住環境・生活基盤	空き家発生の抑制	40	-0.56
7	自然環境・生活環境	不法投棄防止対策	36	-0.54
8	住環境・生活基盤	道路の整備	43	-0.35
9	その他	DXの推進	52	-0.34
10	産業振興	多様な形態の農業経営と担い手の支援	29	-0.33

白井市 都市マスタープランに係るアンケート調査結果分析

(2) 現行施策の満足度

③重要度上位10 施策

- 重要度が最も高い施策は「地震・台風などに備えた防災対策」である。
- 施策分野別では、「住環境・生活基盤」が4、「防災・防犯」が3、「健康・保健・医療」が2、「自然環境・生活環境」が1 施策ずつ入っている。

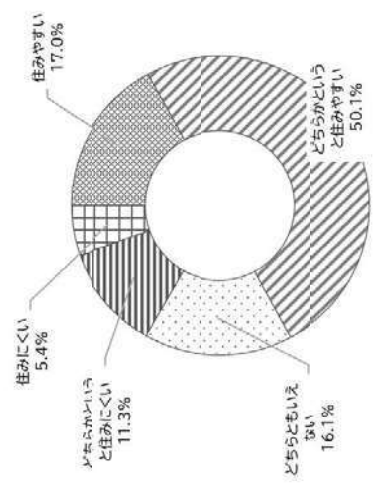
順位	施策分野	施策	施策番号	重要度
1	防災・防犯	地震・台風などに備えた防災対策	8	1.60
2	防災・防犯	火災に対する消防体制や緊急時の救急体制	9	1.57
3	防災・防犯	交通安全対策や防犯対策	10	1.56
4	健康・保健・医療	休日・夜間や緊急時の医療体制	21	1.54
5	住環境・生活基盤	鉄道の運賃問題対策	47	1.50
6	自然環境・生活環境	不法投棄防止対策	36	1.38
7	住環境・生活基盤	道路の整備	43	1.37
8	住環境・生活基盤	路線バスやコミュニティバスの利便性向上の取組	48	1.36
9	健康・保健・医療	がん検診など病気の予防対策	20	1.34
10	住環境・生活基盤	上・下水道の整備	45	1.31

(3) 居住意向

①住みやすさの評価

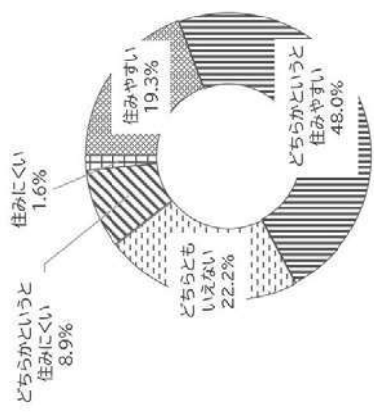
- アンケート別の住みやすさの評価は、すべてのアンケートで、約6～7割が「住みやすい」「どちらかというと住みやすい」と回答している。

問3：あなたは、白井市の総合的な住みやすさについてどう思いますか。1つに○



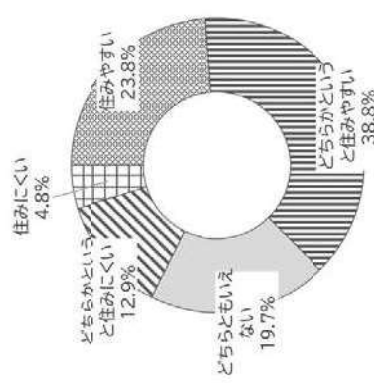
n = 423

問2：あなたは、白井市の住みやすさについてどう思いますか。1つに○



n = 1301

問2：あなたは、白井市の住みやすさについてどう思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。



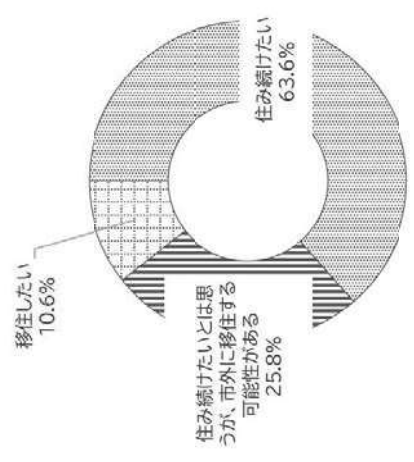
n = 294

(3) 居住意向

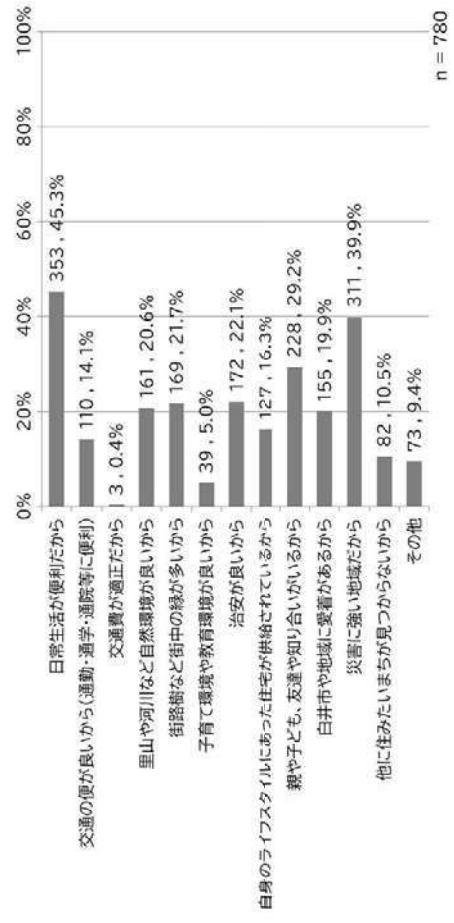
②今後の居住意向

③今後白井市に「住み続けたい」理由

住 問3：あなたは、これからずっと白井市に住み続けたいと思いますか。1つに○



住 問3-1：あなたが、白井市に住み続けたいと思う理由は何ですか。3つまで○



・今後の居住意向をみると、約6割が「住み続けたい」と回答している。一方、「移住したい」は約1割、「住み続けたいとは思いますが、市外に移住する可能性がある」は約3割である。

・「住み続けたい」理由は、「日常生活が便利だから」が最も多く約5割、次いで「災害に強い地域だから」が約4割である。

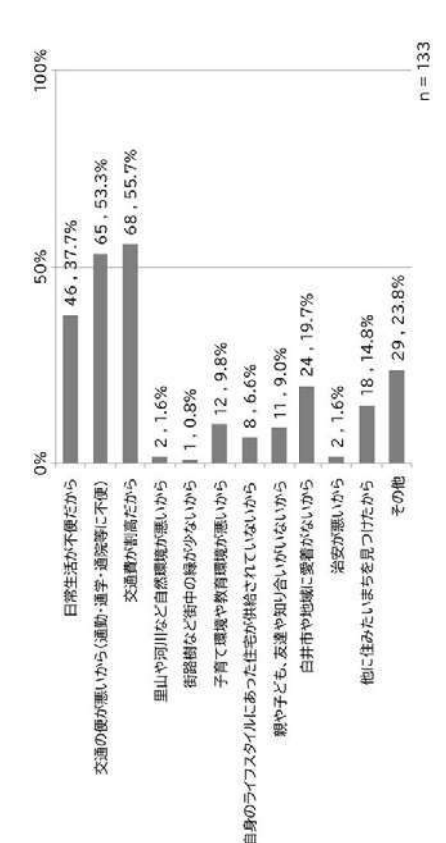
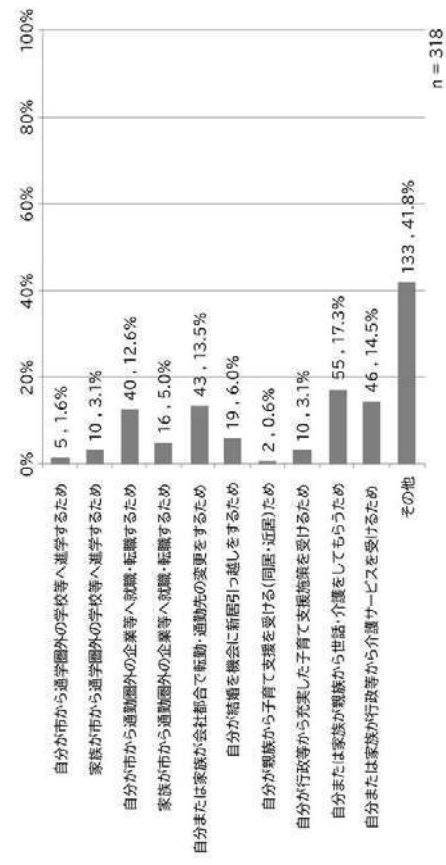
(3) 居住意向

④今後「市外に移住する可能性がある」

⑤「市外に移住したい」理由

☐ 住 問3-2：あなたが、市外に移住する可能性がある理由は何ですか。該当するものすべてに○

☐ 住 問3-3：あなたが、市外に移住したい理由は何ですか。3つまで○



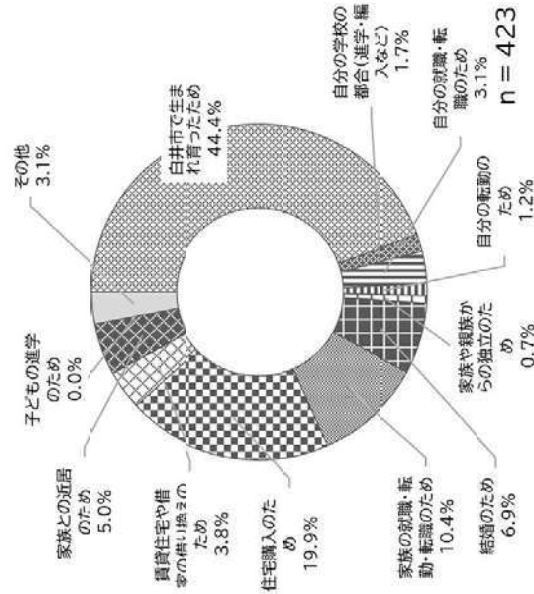
・「住み続けたいとは思いますが、市外に移住する可能性がある」理由は、「その他」を除き、「自分または家族が親族から世話・介護をしてもらうため」が最も多く約2割、次いで「自分または家族が行政等から介護サービスを受けるため」が約1割である。

・「市外に移住したい」理由は、「交通費が割高だから」が最も多く約6割、次いで「交通の便が悪いから(通勤・通学・通院等に不便)」が約5割である。

(3) 居住意向

⑥若い世代の居住理由

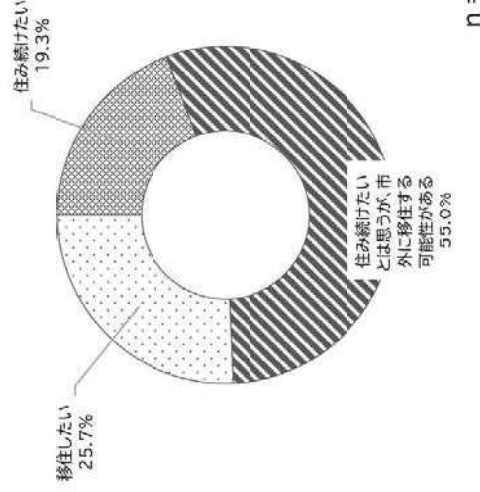
問2：あなたが白井市に住みはじめた最も大きなきっかけは何ですか。1つに○



•若い世代の白井市に住み始めたきっかけは、「白井市で生まれ育ったため」が最も多く約4割である。次いで「住宅購入のため」が約2割である。

⑦若い世代の今後の居住意向

問5：あなたは、将来的なライフプラン（就労、妊娠、出産、子育てなど）を想定したとき、白井市に住み続けたいと思いますか。それとも市外に移住したいと思いますか。1つに○

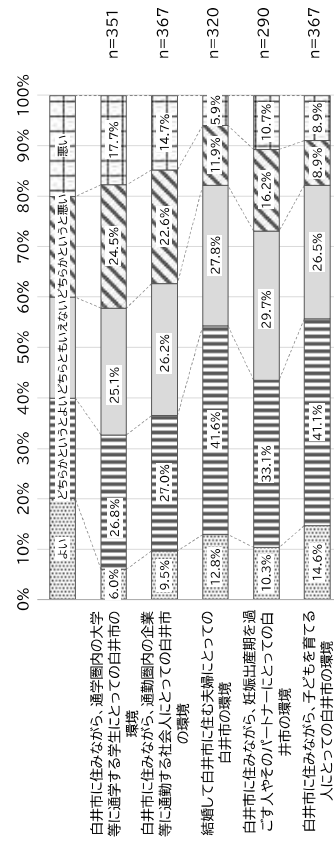


•若い世代の今後の居住意向は、約2割が「住み続けたい」と回答している。一方、「移住したい」という回答は約3割、「住み続けたいとは思いますが、市外に移住する可能性がある」という回答は約6割である。

(3) 居住意向

⑧若い世代のライフステージごとの居住環境に対する評価

【若】 問4：あなたは、これまで・これからのライフステージに対して、白井市の環境についてどう思いますか。1つに○

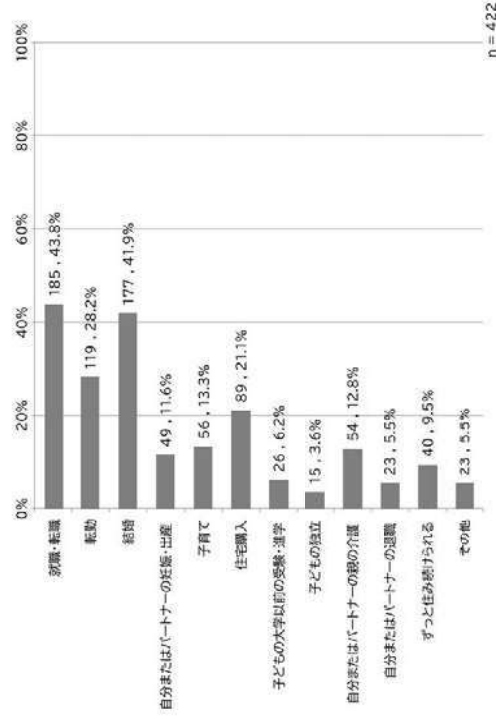


・若い世代のライフステージに対する評価をみると、白井市に住みながら、「通学圏内の大学等に通学する学生」や「通勤圏内の企業等に通勤する社会人」にとっての評価が比較的低い。

・一方、「結婚して白井市に住む夫婦」や「子どもを育てる人」にとっての評価は比較的高い。

⑨若い世代が住み続けることが難しくなると思うライフイベント

【若】 問6：あなたが現在想定しているライフイベントのうち、白井市に住み続けることが難しくなるのは何だと思えますか。3つまで○

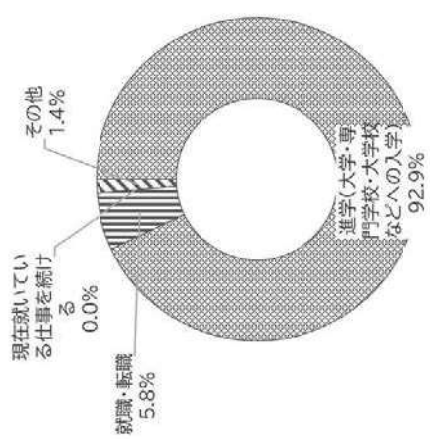


・若い世代の白井市に住み続けることが難しくなるライフイベントは、「就職・転職」が最も多く約4割、次いで「結婚」が約4割である。

(3) 居住意向

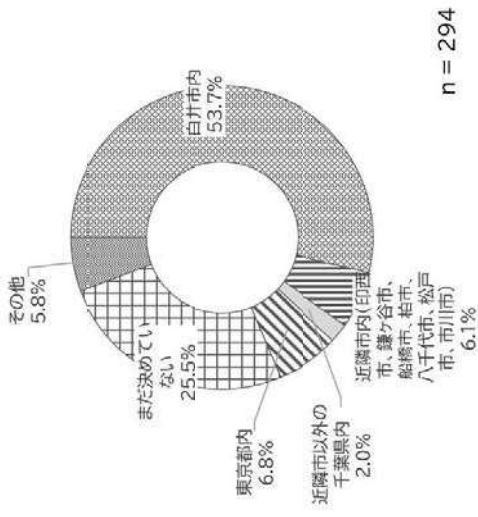
⑩高校生世代の高校卒業時点での進路

問3：18歳時点（高校生の場合、高校卒業時点）で希望する進路について、あてはまるものを1つ選んでください。



n = 294

問4：18歳時点（高校生の場合、高校卒業時点）で希望する進路で、居住を希望する地域を1つ選んでください。



n = 294

・高校生世代の希望する進路として、「進学（大学・専門学校・大学校などへの入学）」が約9割である。

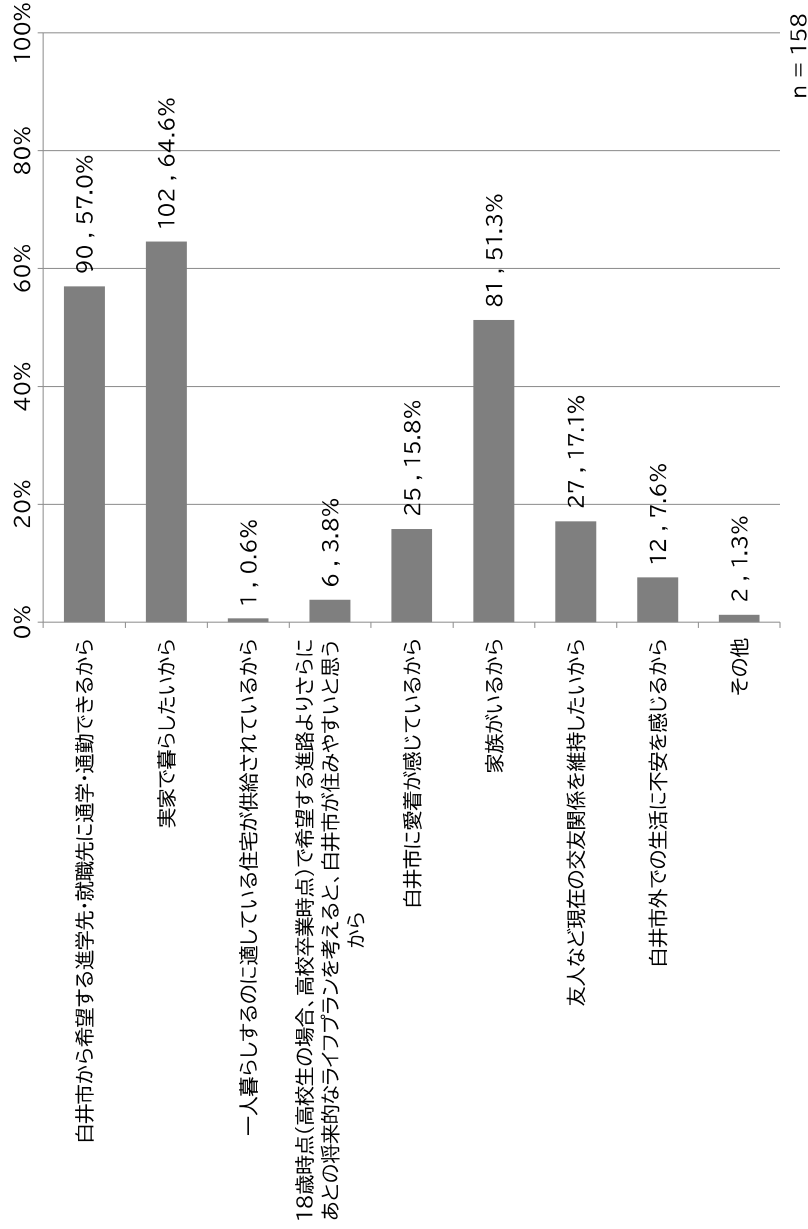
・希望する進路での居住希望地は、「白井市内」が最も多く、約5割である。

白井市 都市マスタープランに係るアンケート調査結果分析

(3) 居住意向

⑫高校生世代の高校卒業時点での市内居住の理由

高 問6：問4で「白井市内」と回答した方にお聞きます。白井市内に住み続けたい理由について、あてはまるものを3つまで選んでください。



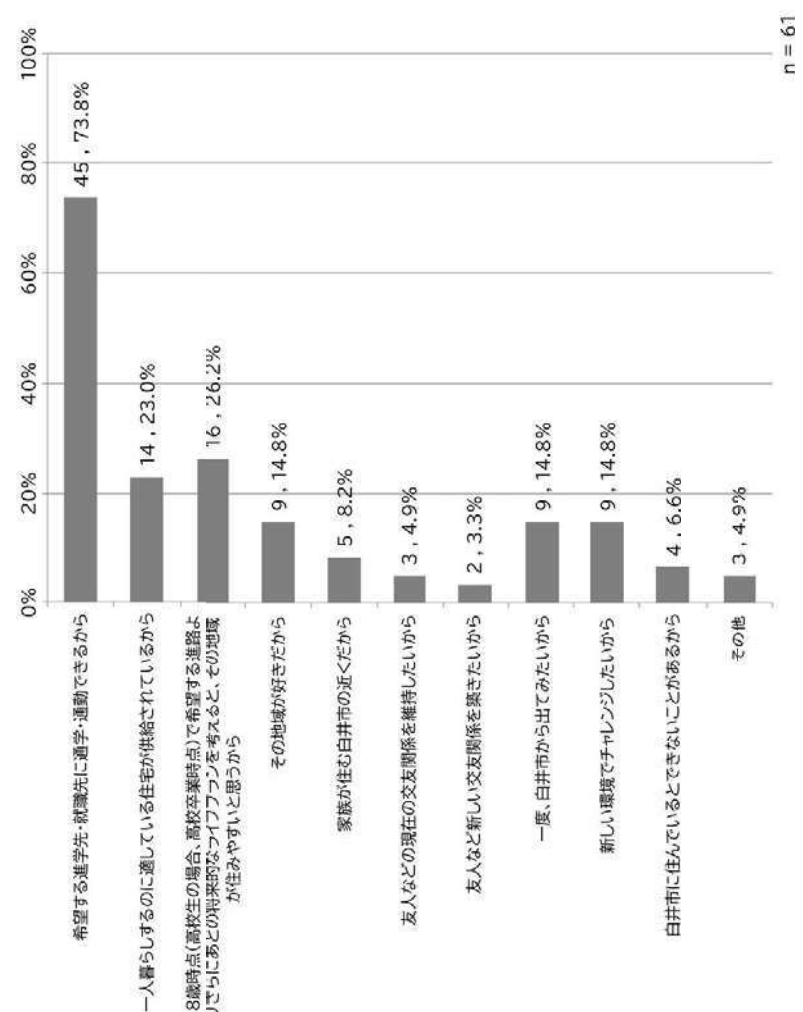
・高校卒業時点での市内居住希望の理由は、「実家で暮らしたいから」が最も多く約6割、次いで「白井市から希望する進学先・就職先に通学・通勤できるから」が約6割、「家族がいるから」が約5割である。

(3) 居住意向

⑬高校生世代の高校卒業時点での市外居住の理由

- 高校生世代の高校卒業時点での市外居住の理由は、「希望する進学先・就職先に通学・通勤できるから」が最も多く、約7割である。
- 次いで「18歳時点で希望する進路よりさらにあとの将来的なライフプランを考えると、その地域が住みやすいと思うから」が約1/4、「一人暮らしするのに適している住宅が供給されているから」が約2割である。

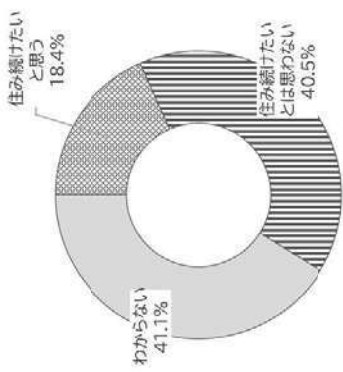
問9：問4で「近隣市内」「近隣市以外の千葉県内」「東京都内」「その他」と回答した方にお聞きします。その地域に住みたい理由について、あてはまるものを3つまで選んでください。



(3) 居住意向

⑭ 高校卒業時点で市内居住を希望する高校生世代の将来的なライフステージ（結婚、妊娠出産、子育てなど）での居住意向

問7：問4で「白井市内」と回答した方にお聞きします。問3で回答した18歳時点（高校生の場合、高校卒業時点）で希望する進路よりさらにあと、将来的なライフステージ（結婚、妊娠出産、子育てなど）の中で、白井市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。



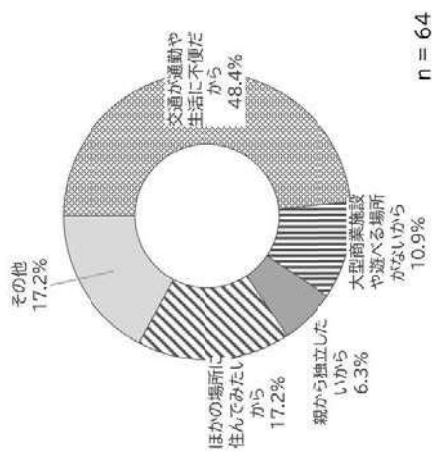
・高校生世代の18歳時点（高校生の場合、高校卒業時点）で希望する進路よりさらにあと、将来的なライフステージ（結婚、妊娠出産、子育てなど）での居住意向は、18歳時点で「白井市内」に居住を希望する回答者のうち、約2割が「住み続けたいと思う」と回答している。一方、約4割は「住み続けたいとは思わない」と回答している。

⑮ 高校卒業時点で市内居住を希望する高校生世代の将来的なライフステージ（結婚、妊娠出産、子育てなど）で白井市に住住したくない理由

問8：問7で回答した理由を教えてください。（自由記述）

「住み続けたくない」 回答理由

※自由記述からグルーピングの上集計

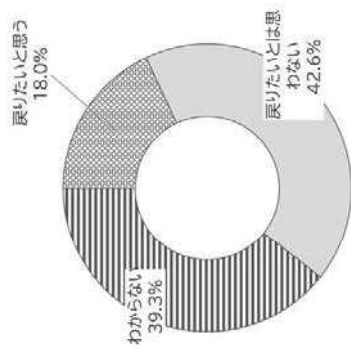


・「住み続けたいとは思わない」の回答理由は、「交通が通勤や生活に不便だから」が最も多く約5割で、次いで「ほかの場所に住んでみたいから」が約2割である。

(3) 居住意向

⑯ 高校卒業時点で市外居住を希望する高校生世代の将来的なライフステージ（結婚、妊娠出産、子育てなど）での居住意向

問11：問4で「近隣市内」「近隣市以外の千葉県内」「東京都内」「その他」と回答した方にお聞きします。問3で回答した18歳時点（高校生の場合、高校卒業時点）で希望する進路よりさらにあと、将来的なライフステージ（結婚、妊娠出産、子育てなど）の中で、白井市に戻りたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

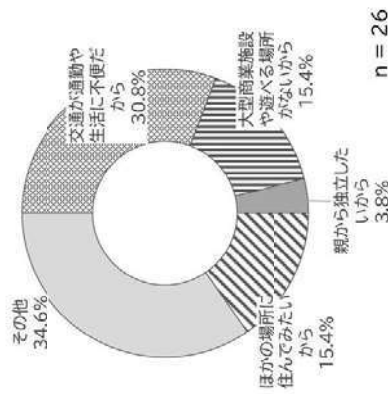


n = 61

・高校生世代の18歳時点（高校生の場合、高校卒業時点）で希望する進路よりさらにあと、将来的なライフステージ（結婚、妊娠出産、子育てなど）での居住意向は、18歳時点で「白井市内」以外（「まだ決めていない」を除く）を希望した回答者のうち、約2割が「戻りたいと思う」と回答している。一方で、約4割は「戻りたいとは思わない」と回答している。

⑰ 将来的なライフステージ（結婚、妊娠出産、子育てなど）で白井市に戻りたくない理由

問12：問11で回答した理由を教えてください。（自由記述）
「戻りたくない」 回答理由
※自由記述からグルーピングの上集計



n = 26

・「戻りたいとは思わない」の回答理由は、「交通が通勤や生活に不便だから」が最も多く約3割で、次いで「大型商業施設や遊べる場所がないから」が約2割である。